

2019年度広報活動報告書

実施日	報告者	学部・学科・部署等の所属	内容、表題等	広報対象・人数等	広報活動の概要	学生の参加・協力	期待する成果あるいは結果等	良かった事・改善したい事・課題等
2019年7月27日	石黒直哉	理学部化学科	スイカ丸かじりと川遊び・生きもの観察会	「越前にコウノトリ呼び戻す田んぼファンクラブ」会員 約60名	「越前にコウノトリ呼び戻す田んぼファンクラブ」の夏休みイベントで、未就学児・小学生とその保護者を中心に約60名が参加。コウノトリのケージがある田んぼ横の天王川でも網などを駆使して淡水魚や甲殻類、水生昆虫などを捕獲した。私は捕獲できた生物について説明を行った。	該当せず	活動の報告、「城西大」と記述された新聞記事を添付いたします。	
2019年12月7日	安田英典	理学部数学科	高校生向け応用数学体験講座2019	主として都内の理系高校生を対象としている	今年度はAIをテーマとした2つの講座を、土屋先生と清水先生が担当した。添付ポスター参照。 この講座は、IU理学部の費用で、IU入試・広報センターに広報をお願いし、法人本部総務課のご協力を得て実施される紀尾井町共同プロジェクトである。	該当せず	参加者は現在の数学科指定校よりも偏差値がかなり高い高校に在籍しており、将来の入学者学力レベルの向上に向けて、これらの上位校に対するアピールができたことを示している。	紀尾井町は法人イベント、IUなどの関係で教室のスケジュールがタイトであるが、高校の中間試験よりかなり前にスケジュールするのが望ましい。これらの点についてIU関連部署の支援が望まれる。昨年度は30名程度の参加者があったが、本年度は中間試験の時期のため10名程度であった(中間試験中であるとのコメントあり)。
2019年5月28日	加藤 寛之	広報課	薬学部教員対象のSEO勉強会の開催	薬学部教員 (希望者・10名)	・アローコーポレーションから3名が来学、薬学部教員対象でSEOの勉強会を開催した。 ・坂本入試部長からの開催依頼による	該当せず	・これまでの勉強会で、日程の関係で参加できなかった薬学部薬学科、薬科学科の教員を主な対象とした。内容は3月22日開催と同じ。今回の開催で、薬学部3学科へのSEO勉強会が行われたことになる。	・薬学部のホームページのSEOでの改善が期待できる。 ・前回に、具体的にどうすれば良いかが分かりにくいとの意見があったので、事前に説明者にその旨を話したことで、より具体的な例示があった。
2019年4月1日～継続	加藤 寛之	広報課	Instagramの運用	特定せず	2019年2月からInstagramの試用が始まり、継続している。2020年2月18日時点で、投稿178件 フォロワー149人 ホームページ閲覧は利用が限られることから、Instagram活用による広報を2019年4月から現在まで運用している。	随時、撮影時に協力を求める。目標設定等は設けていない。	Instagram利用者へのアプローチ。	・良い点 Instagram利用者へのアプローチができた。 ・課題 Instagramへの投稿が日常業務になっていない。
2019年4月1日～継続	加藤 寛之	広報課	Twitterの運用	特定せず	2018年5月からTwitterを運用し、継続している。営業日には1本以上のツイートが心がけた(リツイートを含む)。ホームページの記事をTwitterに併行掲載できるようにした。2020年2月18日時点で、フォロワーは912名。ホームページ閲覧は利用が限られることから、Twitter活用による広報を充実させ、プッシュ型の広報を強化した。 有料のインフルエンサーによる拡散広告を4回(プロテイン、スポーツページの開設、ポランテア活動、経済学部データサイエンスコース)実施し、拡散とともにホームページ閲覧への誘導を行った。 2020年3月5日に学習会を開催した。	該当せず	強制的な広報により、従来は本学に興味関心がなかった層に周知拡大する。届いた人数が数値的に確認できる。	・良い点 プッシュ型の広報ができた。 ・良い点 学習会を開催して検討を深めることができた。 ・課題 インフルエンサーによる拡散広告は、4回の実行によって記事内容による差異がみられた。記事により効果が高まるので、常に活用できるものではない。
2019年後期(継続)	加藤寛之	広報課	スポーツを切り口にしたホームページ閲覧者の増加施策	特定せず	従来のSEOによる検索エンジンの表示順位の引き上げが、各社参入で効果が出なくなった。 代替にスポーツを切り口にした広報を展開し、その結果、ホームページ閲覧者の増加、さらに本学の知名度向上を図る。スポーツをテーマにした独立サイトを設け、城西大学を意識させずに城西大学へアクセスし本学をすり込む手法を探る構想。ホームページ管理会社の都合で独立サイト開設が遅れ、2019年度は受験生サイト内にページを設けて運用を開始。2020年3月25日に改善版を公開した。	該当せず	東京オリンピック2020まではスポーツを取り上げられる可能性が高く、それに相乗りして広報効果が上がると期待する。また本学中期計画、新学科構想にそった基盤整備を行う。	・良い点 成果が期待できなくなったSEO対策を廃棄し、スポーツを活用した広報へ速やかな転換ができた。 ・良い点 中期計画、新学科構想の基盤整備にとりかかれた。 ・課題 ホームページ管理会社の都合で独立サイト開設が遅れた。代替作業で運用した。 ・課題 東京オリンピック2020終了後のスポーツに関する社会の関心の動向を注視する必要がある。
2020年1月21日※設置日	加藤寛之	広報課	水田三喜男記念館に、誰でも弾けるピアノを設置	設置場所の関係で在学学生を想定	近年、各所で行われている誰でも弾けるピアノを水田三喜男記念館に設置することで、キャンパスに潤いを与え学生満足度の向上を目指す。設置にあたり広報課がその活用を進めることになった。学生が通学する時期にミニコンサートのような企画を立てることを構想している。 誰でも弾けるピアノの設置を広報材料に使う。	自由に使えるので、想定できず。	学生満足度の向上 使われていなかったピアノの活用 女子学生へのアピール	・良い点 設置当初、男子学生の試弾が頻繁にみられた。 ・良い点 試行段階であるが、弾く学生からピアノ設置を喜ぶ声が聞かれる。 ・課題 学生の通学が多くなる4月に隣に改善を含め活用を進める。 ・課題 弾き方によっては、館内に想像以上に響く。
2019年4月1日～継続	加藤寛之	広報課	ホームページ運用	特定せず	日常的なホームページの運用を行う。 ニュースは1日1本以上、全学総計で年間1000本の目標を掲げ公開を目指し、結果は1009本だった。 英語サイトが更新されず旧式化したこと、英語から多言語化が求められること、自動翻訳機能が向上したことから、「英語サイトの閉鎖」と「公式ページの自動翻訳による多言語化」の導入を図った(別途に報告)。	該当せず	日常的なホームページ運用によって、大学情報の公表ができる。	・良い点 年間1009本の公開ができた。Twitter等の拡充のなかで、目標値に達したことは評価に値する。 ・課題 Twitter等のSNSの社会的拡充で、ホームページの閲覧利用の価値が相対的に下がった。

2019年10月25日 広報委員会にて提案	加藤寛之	広報課	駅伝応援「リカちゃん」の委託制作	特定せず	タカトミーの商品に城西オリジナルのウェアを着せて一般販売する企画。(株)サトラが限定販売で商品化を代行することで、大学に製造費が掛からない。商品化に1年半を要する。男子駅伝部応援で構想したが、広報委員会、タカトミーの意向で「男女駅伝部を応援する城西生」に構想を改め、その中でチアリーダースのコスチュームを着てもらう案でチアリーダース部へ意向打診。部としての意見を持つ段階(2020/2/17時点)	該当せず	大学の中期計画にある「スポーツの城西」及び新学科構想の地盤作り、さらに女子層、まったく新しい層への波及への認知拡大を狙う。	チアリーダース部へ意向打診中。
2020年4月1日(施行予定)	加藤寛之	広報課	個人情報の使用に係る承諾について	特定せず 主に本学学生と教職員	2020年度施行に向けての作業である。個人情報の使用に係る承諾について2019年10月25日(金)広報委員会(案(1))を提示し、各委員から所属部署での意見を収集した。意見を参考に案(2)にまとめ、2020年3月6日(金)執行部会議に提案。	該当せず	2019年度は、2020年度施行に向けての作業である。個人情報(特に肖像権としての写真の扱い)について一定の基準を定めることを目指す。	・良い点 曖昧であった個人情報利用の許諾に一定の基準をつくる。 ・課題 現実の運用のなかでの修正が想定されず、基準は守りたないを除外、極力無用な映り込みを避ける姿勢が肝要であると考えられるので、施行に併せてこの姿勢を周知徹底する。
2019年4月～継続	加藤寛之	広報課	ホームページ掲載ニュースの高校生への送付	特定せず 在学生、来学者、高等学校	ホームページ等で広報される、大学・学部・部署等の情報を再編集してミニポスターにする。これを広報「城西」や「JSホ」にあわせ、月1回、周辺の役所や高校等へ送付する。入試課からの要請で、対象高校を400校弱に約100校増やした。	該当せず	高校等に学内の取組みや教育研究情報を周知して、城西大学の印象をよくすることを目指す。紙による保存活用がある高校現場にあわせた広報手段。東京都内の高校を中心に強化したので、東京紀尾井町キャンパスあるいは失いつつある都内高校からの募集の基盤強化を期待する。	・良い点 ホームページにあるニュース掲載の活用なので、手間がかからない上に、記事の再活用になる。 ・良い点 入試課との連携を行った。 ・課題 送付したままで結果の評価は不明だが、送付を継続する。
2020年3月17日(予定)	加藤寛之	広報課	ホームページの多言語化	特定せず	現行の英語サイトの閉鎖。内容が不十分である上に更新されていないため。 公式ホームページを自動翻訳で多言語化し、本学中期計画にそって対応とする。自動翻訳の導入の是非、自動翻訳にあたりそのシステム選定を10/25、12/19、1/31の広報委員会検討し、Google自動翻訳の試行導入を決定、2/7の執行部会議で了承。3月中旬の妥当な日を選び導入する予定であったが、新型コロナウイルス対応で公開を延期。	該当せず	英語以外の言語に対応できる。 日本語公式ホームページの言語変換なので、言語別の多重管理を避けられる。	・良い点 英語以外の言語に対応できる。 ・課題 自動翻訳なので正確な翻訳の制度に懸念がある。これについては、公式ページへの英語別の書き込み、翻訳されやすい日本語記述を委員会でお願した。
2019年7月10日	田淵敬光	別科	坂戸市長表敬訪問および広報誌記事掲載(広報さかど)	特定せず	学生の社会施設見学の一環として坂戸市役所を訪問し、市長と学生の面談の機会を作った。後日、この件が埼玉新聞の記事として掲載された。	日本文化専修課程の学生37名	自治体(坂戸市)や記事読者の留学生および別科に対する理解を深めてもらう	
2019年10月26日	田淵敬光	別科	日本語スピーチコンテスト開催および新聞記事掲載(毎日新聞埼玉版)	特定せず	日本語スピーチコンテストを学生主体で開催し、聴衆(近隣の日本語学校、高校の教諭等)に別科の学生の日本語レベルだけでなく、学生の自主性などを知らしめた。尚、後日この催しが新聞記事となった。	教職員は裏方にまわり、別科の学生に交付、司会、誘導、案内等の実施に関するほとんどの仕事をもらった。	対内的効果：別科学生の自立心・問題解決能力を向上させることができる 対外的効果：城西大学の留学生教育・支援の成果を広く知らしめることができる	前年度と同様、開催通知を送る対象を近隣の日本語学校や高校だけでなく広域にしたことで、今年度は発表者・聴衆ともに前年度と同様の規模となった。
2019年4月1日～2020年2年3月31日	坂本俊輔	経済学部	経済学部ウェブサイトの運営	特定せず	・経済学部に関するニュース(講演会、ゼミ・学生活動など)の更新を行った。 ・コンテンツを大幅に刷新した(学部概要、経済学科、金融教育、公務員試験対策、ゼミナール、国際教育・海外留学、就職・キャリア、城西経済Now!、教えて! Q&A)。	該当せず	経済学部に関する情報を広く一般に提供する。	・ニュースの更新頻度をさらに増やしたい。 ・Twitterやインスタグラムとの連携を強化したい。
2019年4月1日～2020年2年3月31日	坂本俊輔	経済学部	経済学部パンフレットの作成・配布	特定せず	経済学部について高校生向けに分かりやすく紹介したパンフレット(全16ページ・カリキュラム、講義、ゼミ活動、学生生活、海外研修、卒業生の進路などの紹介)、金融分野の教育内容について説明したパンフレット(全4ページ)を経済学部広報委員会で作成し、オープンキャンパスや指定校訪問などで配布した。	学生・卒業生十数名が、写真・コメントの掲載に協力した	公式ウェブサイトとともに、経済学部に関する情報を広く一般に分かりやすく提供する。	学生・卒業生たちの写真やコメントを多く載せることができ、高校生にとって読みやすいパンフレットになったと思う。
2019年4月1日～2020年2年3月31日	坂本俊輔	経済学部	経済学部公式Twitter、インスタグラムの運用開始	特定せず	・経済学部公式のTwitter、インスタグラムのアカウントを作成し、運用を開始した。 ・経済学部に関するニュース(講演会、ゼミ・学生活動など)の更新を行った。 ・経済学部公式サイトのトップページにTwitter画面を埋め込んだ。	該当せず	経済学部に関する情報を広く一般に提供する。	・ニュースや写真のアップをさらに増やしていきたい。
2019年4月1日～2020年2年3月31日	坂本俊輔	経済学部	2020年度新設の「データサイエンスコース」の概要を公表	特定せず	・2020年度に新設される「データサイエンスコース」の概要を公式サイトおよびTwitterで公表した。	該当せず	経済学部で始まる新しいコースの内容について、受験生および一般に広く知ってもらおう。	・新コースについて、今後も公式サイトやTwitter、パンフレットなどを通じて情報提供を続けていきたい。
2019年4月1日～継続	三國信夫	短期大学	短大SNSによる情報発信	特定せず	Instagram、Facebook、twitterに短期大学正式アカウントを開発し、イベントごとに情報発信を行った。マレーシア研修旅行に関する情報に関しては、有料の宣伝を利用した。 パンフレットに、高校生に最も利用されていると思われるInstagramのQRコードを記載した。	該当せず	城西短期大学における授業の様子を伝えることができる。 城西短期大学の学生の様子を伝えることができる。	オープンキャンパスにおいて「インスタの写真見ていました!」などの声を聞く機会が増えた。発信する情報量を増やしたい。

2020年2月29日	石黒直哉	理学部化学科	研修会「環境DNAを用いた絶滅危惧種アベサンショウウオの生息状況」	「水辺と生き物を守る農家と市民の会」9名、市の職員3名	越前市と「水辺と生き物を守る農家と市民の会」と協働で行っている。「環境DNA分析による絶滅危惧種アベサンショウウオの生息地調査」について、越前市のしらやま公民館で2月29日に地元住民9名と市の職員らの前で報告した。	卒研生1名の研究成果を基にしている。	活動の報告、「城西大」と記述された新聞記事（福井新聞2020年3月1日付）を添付いたします。	
2020年3月25日	加藤 寛之	広報課	受験生サイト「Webオープンキャンパス」の充実	城西大学への志願を検討する高校生等。	入試課からの緊急要請。新型コロナウイルスにより、学生募集活動への支障が拡大する懸念から、既存の「Webオープンキャンパス」ページの充実を図った。公開目標を2020年3月末とし、同25日に公開。	該当せず	オープンキャンパス、高校内ガイダンス、会場ガイダンスに代替する効果を期待する。	次年度の学生募集活動が実質的に始まる2020年3月末に間に合う公開ができた。改善は、今後に検討する。
2020年3月25日	加藤 寛之	広報課	薬学部薬学科の広報についての意見交換会	薬学部薬学科への志願を検討する高校生等	薬学部薬学科の学生募集を支援するための、ホームページ修正についての意見交換と勉強会を開催した。(株)アローコーポレーションに協力を呼びかけ、具体的な検討を行った。広報活動報告書「Twitterの運用」も参照のこと。	該当せず	薬学部薬学科の学生募集に寄与できるホームページ修正に具体的な事項を知ることが出来たので、取組みの方向が明確になった。	外部の意見を具体的に聞いたこと。取組みの具体的な事項が分かったこと。